



令和5年度 第2回学校評価結果について

第2回学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度は1年間の学校の取組を終え、児童アンケートや保護者アンケートから成果や課題を考えることができました。来年度は、感染防止対策も緩和され、学校生活もまた新たな取組を進めていくことになります。以前のままの学校に戻るのではなく、これまでの経験や取組からよりよい嵯峨小学校になるよう考えていきたいと思います。

児童アンケートより



		よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない		
確かな学力	授業中に自分の考えを話したり、書いたりすることができていますか。	41.4%	47.5%	10.3%	1.1%	①	
	ペアやグループで話しあう時には、すすんで話せていますか。	42.4%	45.6%	10.3%	1.7%	②	
	学習の中で、問題の解き方やまとめ方、工夫の仕方などを考えることは楽しいですか。	48.4%	39.3%	10.8%	1.5%	③	
	ノートに学習したことや考えたことをわかりやすく書いていますか。	44.1%	48.0%	6.6%	1.3%		
	生活科や総合的な学習の時間に地域の学習をしたり、地域の人と関わって学習したりすることは楽しいですか。	64.6%	30.5%	4.8%	0.2%		
	学校で学習することは楽しいですか。	51.4%	36.5%	10.2%	1.9%	④	
	タブレットを使って、考えたり、調べたり、まとめたりすることは楽しいですか。	75.4%	20.9%	3.5%	0.2%		
	夢や目標をもって学習できていますか。	50.8%	38.5%	9.9%	0.9%		⑤
	先生や友だちの話をしっかり聞くことができていますか。	59.2%	37.4%	3.0%	0.4%		
	むずかしいことにも、がんばって挑戦していますか。	53.4%	38.6%	6.7%	1.3%		
宿題や自主的な学習を毎日、計画的にできていますか。	47.0%	42.7%	9.5%	0.9%	⑥		
豊かな心	安心して、楽しく登校することができていますか。	67.2%	24.8%	6.0%	1.9%		
	学校行事や学級活動、委員会活動などで、積極的に意見を言ったり、活動したりできていますか。	43.7%	44.5%	10.5%	1.3%		⑦
	みんなと協力して、いろいろなことに取り組んでいますか。	59.9%	36.4%	3.4%	0.2%		⑧
	学校や家で、自分からすすんで気持ちのよいあいさつや返事をしていますか。	55.0%	39.0%	5.8%	0.2%		
	どんな人にも、ひどい言葉づかいをしないように気をつけていますか。	58.7%	34.3%	6.9%	0.0%		
	人をいじめたり、仲間はずれにしたりしないように気をつけていますか。	76.4%	21.2%	2.2%	0.2%		
健やかな体	学校や家での「きまり」を守っていますか。	56.1%	40.4%	2.8%	0.6%	⑨	
	学校や家で、安全に気をつけて行動していますか。	70.7%	25.4%	3.0%	0.9%		
	自分や友だちの心や体の健康を守る行動ができていますか。	66.5%	31.2%	1.9%	0.4%		
情報発信	学校で配られた手紙やプリントをきちんとお家の人に見せていますか。	58.6%	31.3%	8.2%	1.9%		

【確かな学力】

児童アンケートの結果を前期の結果と比べると、各質問に対して「できていない」という回答が減っていることがわかりました。特に「学習の中で問題の解き方やまとめ方、工夫の仕方などを考えることは楽しい」と思える児童が増えており、各教科の学習の中で「どうしたら解けるのか?」「どうしてそうなったのか?」「どうしたらよりよくなるのか?」を考えられる授業に取り組んでいる成果が出てきているのではないかと考えています。(①)

また、「学校で学習することは楽しい」と答えている児童が増えており、これは、授業はもちろん、学校行事の工夫ができて、学校生活自体が落ち着いて過ごせていると考えられます。(④)しかし、その一方で①②③④⑤については、「あまりできていない・できていない」が10%を越えています。一人一人の児童の学習の困りや学校での様子をしっかりと見取り、できていないと思う児童が少しでも少なくなるように取組を継続していきます。

【豊かな心】

今年度は、「感染症対策をしながらの取組から新しい取組へ」学校の取組が変化していった1年間でした。子どもたちを中心に考え、子どもたちの力を発揮できる行事や学習になるように様々な面を見直して取り組んでいきました。アンケート結果からも、子どもたちが取組に対して満足できているのではないかと考えています。(⑦⑧)また、運動会や学習発表会は子どもたちにとって大きな行事であったようです。何度も練習してみんなでできるようになったこと、上手くなっていったこと、協力できたことにより、達成感・充実感を感じるものだったようです。このような大きな行事でなくても、普段の学習の中で、子どもたちが「やった」「できた」と思える経験をたくさん積んでいけるようにしていきます。

【健やかな体】

アンケート結果を見ると、どの項目もよい結果となっています。しかし、実際の学校生活では「きまり」を守れていない場面も多く見かけます。特に、3つの⑨や名札を付ける、廊下を走らないなど、日常的に当たり前のことが、当たり前にできていない状況があります。「ちょっとくらいいいか」という気持ちから学校の雰囲気や周囲の乱れにつながったり、危険につながったりするので教職員も含め、改めて学校のきまりをしっかり守っていききたいです。

保護者アンケートより



	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
お子さんは、自分の考えを話したり、書いたりすることができますか。	21.2%	60.7%	15.1%	2.1%	0.8%
お子さんは、学習や興味のあることについてわかるまで調べたり、考えたりすることに関心がありますか。	14.7%	51.4%	27.2%	5.3%	1.5%
①					
②					
お子さんは、学習したことを分かりやすくノートに書いていますか。	12.4%	47.3%	24.8%	7.1%	8.4%
③					
お子さんは、生活科や総合的な学習の時間に地域の学習をしたり、地域の方と関わって学習したりすることに关心がありますか。	18.3%	54.5%	15.2%	3.4%	8.6%
④					
お子さんは、学校で楽しんで学習することができますか。	26.4%	58.9%	8.2%	2.7%	3.8%
⑤					
⑥					
お子さんは、タブレットやパソコンを使って調べたり、まとめたりする学習に関心がありますか。	28.0%	49.7%	10.3%	3.2%	8.8%
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
⑪					
⑫					
⑬					
⑭					
⑮					
⑯					
⑰					
⑱					
⑲					
⑳					
㉑					
㉒					
㉓					
㉔					
㉕					
㉖					
㉗					
㉘					
㉙					
㉚					
㉛					
㉜					
㉝					
㉞					
㉟					
㊱					
㊲					
㊳					
㊴					
㊵					
㊶					
㊷					
㊸					
㊹					
㊺					
㊻					
㊼					
㊽					
㊾					
㊿					

【確かな学力】

アンケート結果を総合的に見てみると、前期の回答より「できていない」が増えています。(①②③④) ①②は前回でも課題として挙げており、毎日の授業の実践や工夫が続けているところです。特に子どもたちが学習の中で関心がある、生活科や総合的な学習の時間、タブレットを使った学習などは来年度も引き続き取り入れながら子どもたちの力を伸ばしていきます。さらに、子どもたちが夢や目標をもち、挑戦していけるような学校環境や学習環境を徹底的に見直し、よりよい学校生活を送れるように計画し、実行していこうと考えています。

【豊かな心】

どの項目も「できている」が多く、子どもたちが地域・家庭・学校の中でしっかり居場所があり安心して過ごさせていることがわかります。今後はそんな環境をより子どもたち自身がつくっていると実感できる取組が進められたらと考えています。特に、学校行事や学級活動は、子どもたちの発想をより生かせる場となります。子どもたちが、「自分たちが学校をつくられているんだ」「どんな学校にしたいか」「どんな学級にしたいか」と考え、協力し、学校・学級を動かしていけるようにしていきたいと考えています。(⑤⑥) また、子どもたちにそのような場を設定できるのは私たち教職員です。これまで学校の当たり前だと思っていたことを当たり前と思わずに、もう一度子どもたちと見直し、取り組んでいけるようにしていきたいです。

【健やかな体】

どの項目もほぼ「できている」という結果になっており、アンケートだけ見ると安心してしまいますが、児童アンケートにもあったように、実際の学校生活では、当たり前でできてほしいことができていないことが多くあります。しかしこれは教職員側にも言えることです。時間を守る・言葉遣い・ルールを守るなど、子どもたちに指導することは私たち教職員もしなければいけません。子どもたちのよいお手本となるように意識して日々の学校生活を子どもたちと一緒に良くしていきたいです。(⑦)

【情報発信】

京都嵯峨学園に関しては、「わからない」という回答が多く、十分な発信が足りていないことがわかります。3小学校と中学校の交流はいろいろな学年で様々な形で取り組まれているため発信が難しい面がありますが、子どもたちが京都嵯峨学園の取組で活躍している姿は地域・保護者の方にも知っていただきたい内容なので、「京都嵯峨学園だより」「学校だより」「ホームページ」等の工夫を今後も続けていきます。(全体結果より)



- ・家に帰ってから宿題・明日の用意などやらなければいけないことが進んでできるようになった。(1年)
- ・人の気持ちに寄り添って考えることができるようになってきた。(1年)
- ・悪いことや人に言うてはいけないことが少しずつ分かってきた。(1年)
- ・あらゆることに関心をもち調べたり聞いたりすることや堂々と自分の考えを主張できること。(2年)
- ・助けてもらったり、してもらったりしたことに対して「ありがとう」としっかり言えるようになった。(2年)
- ・文章を書く力がついた。接続詞を使い分けて上手に文を作っている。(2年)
- ・学校で様々なことにチャレンジして自信がついた。話し方や行動を見ているとたくましさを感じて嬉しい。(2年)
- ・外遊びをする機会が増え、嵯峨小学区の環境の良さを日々感じている。(3年)
- ・困っている人を助けよう、声をかけてあげようという意識が高まった。(3年)
- ・毎日、先生や友だちと過ごしたことについて「楽しい」と家で話してくれる。(3年)
- ・自分の力で解決したり、自分で考えて判断・行動したりできるようになってきた。(4年)
- ・言われて勉強するから「夢のために頑張って勉強したい」に変わってきた。(4年)
- ・自ら時間を決めて段取りしていけるようになってきた。(4年)
- ・調理実習で習ったことを家でもしてくれる。もっと上手くなろうと段取りなど工夫している。(5年)
- ・自ら進んで机に向かい自然とやるべきことに取り組んでいる。集中力もついている。(5年)
- ・下の学年の子にいつも優しく接することができている。(5年)
- ・人の気持ちを第一に考えての言動が身に付いてきたと思う。(6年)
- ・エスノートを使って、自分で時間をスケジューリングしていて良いなと思った。(6年)
- ・話を理解しようとしてしっかり聞き、話の内容についてももしっかり考えられるようになった。(6年)



学校運営協議会による学校関係者評価

3月に学校運営協議会の方より令和5年度第2回学校評価結果についての学校関係者評価をいただきました。今回のご意見をもとに本校の取組を点検し、今後の学校運営に生かしていきたいと考えています。

□ 確かな学力

- ・生活科や総合的な学習の時間に子どもたちが調べていることを、地域に住んでいる私たちも聞いてみたいと思いました。子どもたちの発表にアドバイスをしたり、地域に住んでいる私たちの思いを伝えたりできるといい学習になるのではないのでしょうか。
- ・「なぜそうなるのか?」「どうやって解決しようか?」などと学習の中で子どもたちが考える問題解決型学習に取り組んでおられるのが良いと思いました。AI やロボットが活躍する近い将来、人間の「考える力」がより求められる時代になっていくと思うので、学校でもしっかり身に付けてほしいです。

□ 豊かな心

- ・目を合わせてあいさつできる子と出来ない子がいます。しっかりあいさつできたことを大人が褒めたり喜んだりすることで、よいあいさつができる子が増えるといいなと思います。
- ・地域のゲストティーチャーとして子どもたちと交流すると、話し方や聞く姿勢などしっかり指導が行き届いていると感じます。場所や人によって、話し方や聞く姿勢を使い分けられることは、礼儀としてとても大切だと思います。

□ 健やかな体

- ・「きまり」を守ることはただルールに従うのとは違い、「きまり」を守ることでみんなが気持ちよく学校生活を送ることにつながるということを、子どもたちに伝えなくてはいいと思います。「きまり」を守ることが、自分や友だちの心や身体を守ることにもつながると思います。
- ・放課後、学校の運動場で遊んでいる子が少ないように感じました。子どもたちには身体を動かす楽しさを知ってほしいです。